



年少だより

ほほえみ



担任 中村 孝枝

つばめ組の子どもたちもクラスが安心できる場所になり、好きな遊びを通して自分を出せるようになってきています。そして少しずつ周りに目が向き始めています。子ども同士のやり取りがたくさん生まれるように関わっていきたいと思っています。

5月の保育より

砂遊びって楽しいね

黒っぽいTシャツの用意をしていただきありがとうございました。大好きな砂場に新しい用具（雨どい・コンテナ・タライ）を用意してみるとみんな興味を示しました。最初は どう遊んでよいかかわからず、ただ並べるだけでしたが日を重ねるごとに自分達で工夫して用具を組み合わせ楽しお姿に変わってきています。異年齢児からの刺激も大きく、一緒に遊ぶ中で優しくしてもらったり、真似をしたりしながら多くを学んでいます。これから盛んになる色水遊びや水遊びを通して異年齢児との関わりを大切にしながら興味や関心を育てていきたいです。



玉ねぎを収穫したよ

はと組、ひばり組が前年度苗つけた玉ねぎが大きく実ったので、つばめ組も一緒に収穫させてもらいました。丸々した玉ねぎを「うんとこしょ」と力いっぱい抜きました。ひばり組と競うように抜いている子もいました。サークルタイムで「玉ねぎはこんな料理に入っているね」とお話したところ「カレーがいい」「ハンバーグにする」と好みの料理を口にしていました。ぜひ、会話を楽しみながらお子さんの好きな料理に変身させてみてください。

次は、ジャガイモを収穫し、カレー作りに繋げていきます。その後はさつまいもの苗つけをしていきます。プランターのプチトマトやゴーヤの水やりもしながら栽培物の生長をみんなで楽しんでいきます。



カブトムシがさなぎになったよ

飼っている幼虫を「早くカブトムシにならないかな」と心待ちにしているつばめ組。ある日「この虫かわいい。あっちにいっぱいいるよ」と小さい虫を手持ってきた子がいました。よく見てみると、飼育箱の土に湧いた小さな虫でした。みんなで飼育箱を掃除すると7匹の幼虫たちは少し茶色がかっていました。飼育箱の側面にトイレットペーパーの芯で蛹室を作って観察できるようにしたら、なんと次の日さなぎに変化した幼虫がいました。「すごい。さなぎになってる」大喜びしたみんなの顔がかわいかったです。成虫になるのにはあと1ヶ月位かかるのでしょうか。毎日楽しみに観察しているつばめ組です。

6月のねらい

○自分の思いを伝えながら保育者や友達と関わって遊ぶ楽しさを味わう。



自分の思いを言葉で伝えよう

※一人遊びから、友達のやっていることに興味をもち始め関わって遊ぶ姿も見られるようになってきました。一人ひとりの思いを受け止めながら言葉で表現できるように支援していきたいと思っています。友達と遊ぶ中でトラブルも起きますが、順番や交代、互いの気持ちを知ることができるよう代弁や仲立ちをしていきます。

梅雨の過ごし方を考えよう

※梅雨の時期は室内で過ごすことも多くなってきます。リズム遊びや簡単なゲームなどの動きのある遊びを取り入れ遊びの工夫を心がけていきます。

プール遊びも始まります。衣服の着脱も自分でできるようになるといいですね。

